

日立とIBMのHDD新会社が決定

日立6800人 IBM14700人

1月6日 キックオフ

2003年1月6日、新会社
(本社米国サンノゼ) 日立グロー
バルストレージテクノロジーズ

のキックオフが日立小田原事業
所構内で行われました。従業員
21500人(IBM1470
0人、日立6800人)の日立
関連では最大規模の子会社です。
日本法人宮崎哲男社長、八木
隆一CFOからそれぞれワール



中国長江(揚子江)三狭の日の出(2002年11月)

トワイドHDD事業の展望と決
意が語られました。

一体化後の リストラが 心配

気位の高い米国資産家令嬢
(IBM)と野心家青年(日立)。
日立側の結納金2500億円、
国際政略結婚でした。

カルチャーの違いを乗り越え
んと、現在ペアリングと表して
日立、IBM双方の共通する部
門でのすり合わせが行われてお
り、一体化後の新たなリストラ
が心配されています。

に売却されました。

日本IBM の賃金は 高いの？

日本IBMの常務は期せずし
て答えています。「IBMの直
接員の給与は日本の電機産業の
中では高い」とのべ、労働条件
の切り下げに含みをもたせてい
ますが、とんでもありません。
日立をはじめ日本の電機産業に
働く労働者の賃金は低く、残業
の無い今日、耐え難い状況になっ
ています。

IBM労組 横浜地裁 に提訴

さらに日本IBM藤沢事業所
では、JMIU(日本金属情報
機器労働組合)日本IBM支部
労組が、労働者の保護を目的と
した労働契約承継法違反、労働
条件の不利変更は許せないとい
横浜地裁に提訴しています。

しかし02年12月25、30日のたつ
た5日間でIBMから分離され
た、HDD部門は日立の新会社

いま真価が 問われている

いま労働
組合と電機
労働者の、
低賃金・労
働条件切り
下げに對す
る反撃が求
められ、そ
の真価が問
われています。

「ひろば」は
下記URLに掲示しています。
<http://www.h5.dion.ne.jp/~htckon/>
yahoo検索【日立関連労働者懇談会】

約束通り

5%賃金カット解除で

労使協議の開始を

昨年6月以降、賃金の5%、約2万円の賃金カットが続き、家計は疲弊の一途をたどっています。

同年9月の中間決算では、日立は連結で中間期128億円、通期で360億円見通しの黒字となり、当期損益は大幅に改善しました。

会社の「緊急業績対策に関する申し入れ」には議事録確認事項として

(1) V字回復とは、連結での税引き前利益予算

の達成。

(2) 2002年度の業績のV字回復が確実と見込まれる場合は、直ちに緊急業績対策の解除についての労使協議を開始するとしています。ここは、約束通り直ちに5%カット解除の労使協議に入るべきです。
「社会に対して堂々と説明できないことはやらない。」のが社是なのであります。

一時金の「部門業績差反映」について 情報開示の徹底を!!

一時金に業績差反映方式がとりいれられて02夏・冬期、2度の一時金が支給されました。

全社売上(税引き前)利益率(U)に対し、事業グループ・事業部門、五段階の評価基準がある、±2.5%以内を平均として、±

2.5%超え、±5%超えの五段階評価にS級がある。ポイント制導入時の確認では「評価指標となる全社

実績U、グループ実績U/グループ計画Uの達成度」等についての情報開示を徹底するとされていきました。所詮小さなパイの配分で

競い合わせるものですが、果たして意欲が引き出せたのでしょうか、

会社は該当者への説明責任があります、二度の一時金では情報の開示が明らかにされた形跡はありません。今、春闘での検証がぜひ必要です。

東京電力福島第一原子力発電所1号機の定期点検で、従業員が不正に関与していたことに関して、社長の直なお詫びと、事件の背景分析、再発防止の提言がありました。今や顧

とつとして、庄山オンラインの活用を訴えておられます。デジタルデバイドに苦しむ技能職にもパソコンとメールアドレスを支給してください。「事故は現場で起きている。」ので

事故は現場で起きている

客の信頼を裏切ると、どのような会社でも企業生命を失う時代となっています。昨今の日本の製品に対する信頼の揺らぎは、モノ作りに携わる自分達として心が痛みます。提言のひ



255はサラ金通り。富士、アイフル、むじんく、ワイド、ポケットバンク、アコム、ニコニコ、ほのぼの等など数えきれば限りありません。サラ金(消費者金融)は、無担保・無保証の個人融資、違法な高金利、年利25~29%で利息制限法違反です。その背景には大手銀行があり、サラ金業者は(2~3%)で借り、高利子(25~29%)で貸し出します。

貸せば貸すほどもうかるしくみ。利用者は千六百万人と言われ、自己破産は20万件と史上最高。支払い能力を無視した過剰融資、返済困難な人への暴力的脅迫的な取り立てで、家庭破壊、自殺、犯罪の温床になっています。CMでは、お金を借りることの後ろめたさを感じさせることなく、親しみやすさ、明るさをアピールしています。見逃せないのがスポーツ界へのサラ金マネーの進出です。昨年の12月8日パルマの中田英寿とレジーナの中村俊輔の初対決がセリエAのピッチで行われ、その脇にアイフルの赤い看板が並んでいました。Jリーグでも武富士の看板が目立ちます。大リーグでも、イチロー、佐々木の所属するマリナーズの本拠地、セーフコ・フィールドにはポケットバンクの看板が、日本でも近鉄のメット・ユニホームにアコムの文字が、なんと国技と言われる大相撲の懸賞金にまで。マスコミ・スポーツ界のサラ金マネー汚染はとどまる事をしりません。ながびく不況でスポンサーが減少するなか、クリーンでさわやかなスポーツが、安易にサラ金の広告塔にされるのは許せません。